

人材育成事業－先輩経営者との意見交換会が開催

－清川メッキ工業(株)清川会長の講演会に

全国から若手経営者 23 名が集まる－

全鍍連経営委員会は、平成 18 年度まで「若手経営者座談会」を行い、全国の青年部・若手経営者との交流事業を行ってまいりました。その後、一定の成果が得られたことから、当委員会では平成 19 年度から検討を行った結果、その後継事業として、先輩経営者と次の世代を担う後継者との“はしわたし”を行うことで、「絆－先輩経営者と直にふれあい」、「挑戦－その経営理念等を自社にも活かそう」を目的に研修会を開催しました。

めっき業界の次の時代を担う経営者を対象とした第 1 回目の研修会は、清川メッキ工業株式会社で実施しました。第 1 部は、同社創業者、清川忠会長（全鍍連理事・元経営委員長（旧近代化推進委員長））による講演会が行われ、その経営哲学を直にお聞きすることができました。第 2 部は、清川会長を交え、経営理念なども含めて直に質問できる場を設け、様々な意見や活発な情報交換が行われました。

はじめに

当委員会による「先輩経営者との意見交換会」は平成 22 年 2 月 19 日（金）13:30 より、清川メッキ工業株式会社（福井県福井市）の協力により、同社会議室にて開催された。

研修会のプログラムは 2 部構成で、第 1 部は先輩経営者による講演会、第 2 部は講師を交えて意見交換会を行った。

今回の事業開催にあたり、当委員会は清川メッキ工業株式会社の創業者で代表取締役会長の清川忠氏（現全鍍連理事）に講師をお願いして実現した。参加者は当委員会からは難波副会長、土井委員長、吉田副委員長、藤井副委員長、志田副委員長が参加した。若手経営者側からは、総勢 23 名が参加した。東北組合から岡崎淳一氏（ジャスト株式会社代表取締役社長）と高橋淳氏（株式会社社会津技研取締役統括部長）、栃木組合から及川哲氏（日本プレーテック株式会社）、神奈川組合から栗原識氏（株式会社大協製作所営業課長）と高村将名氏（有限会社高村工業所代表取締役）、東

京組合から石川英孝氏（株式会社ヒキフネ専務取締役）と内藤喜達氏（平和工業株式会社総務部長）、姫野正樹氏（京王電化工業株式会社専務取締役）、静岡組合から神谷公彦氏（神谷理研株式会社営業係長）、愛知組合から中島啓輔氏（八幡鍍金工業株式会社取締役）と二村義博氏（株式会社二村研磨工業所代表取締役）、富山組合から梅田雄一朗氏（株式会社ユニゾーン代表取締役専務）福井組合から黒田優氏（アイテック株式会社取締役事業部長）と若山健太郎氏（株式会社ワカヤマ）、大阪組合から池田裕樹氏（三和鍍金工業株式会社技術グループリーダー）と植田幸司氏（植田鍍金工業株式会社代表取締役）、兵庫組合から井田統章氏（マルイ鍍金工業株式会社専務取締役）、岡山組合から難波圭太郎氏（オーエム産業株式会社代表取締役社長）、広島組合から新谷浩之氏（新和金属株式会社）と森元信名氏（有限会社広鍍金工業所代表取締役）、山陰組合から木下貴啓氏（株式会社アサヒメッキ代表取締役）、九州組合から御船隆（株式会社正

信次長)、そして清川メッキ工業株式会社代表取締役社長の清川肇氏の23名であった。

講演会の模様

第1部として、清川メッキ工業株式会社の清川会長より講演を行った。大要以下の通りである。

○大阪(大起工業)で勤務したのち、23歳のときに(昭和38年)地元福井でめっき業をはじめた。当時数人の従業員で中古装置を稼働させながら、めっき業を営んだ。

○35年前、「日経ビジネス」誌に電子部品めっきが今後10年で10倍伸びるとの予測記事が紹介された。それを機にオートバイ関連の電子部品めっきの本格的な参入を始め、大学や工業試験場と密に連携しながら開発・研究にも取り組んだ。



写真 講師の清川会長

○実はこのような研究機関は決して敷居が高いわけではないと思う。分析装置などの利用も可能なので、皆さんにも積極的な利用をお勧めしたい。

○会社の業績が徐々に軌道に乗り始めた頃、人の出入りや来客も多くなり、工場内の整理整頓も習慣化されるようになった。同時に職場環境も自然に改善されるようになった。1994年にはめっき業界で初めてISO9001を、1997年にはISO14001を取得するに至った。

○2006年には、「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法案」について参考人として、国会で意見を述べさせていただいた。福井弁で語ってきたが、当時目の前に座っていた小泉チルドレンが私の言葉を理解していなかったようで、クスクス笑っていたのを思い出す。

○40年ほど前に起きたあさま山荘事件の際、銃弾がジュラルミンの盾を貫通するのを見て、「めっき技術でジュラルミンを強化できる」と直々に防衛庁まで商談に行ったことがあったが、粘りに粘った末交渉の席に着くことができた。

○「その気になってやってみること」「ダメ元でいいから、おもしろいことは積極的にチャレンジする」。このような精神は、その頃から思い抱いているものである。

○好きな言葉は「自己流から一流へ」である。

絵画・彫刻など様々なものに挑戦してきたが、どれも「我流」で飛び込んで広げた世界である。めっき業界についても然りで、まずは自分で体当たりすることが何よりも大事である。そしてめっきの仕事ほどおもしろいものは無いと私は確信している。

意見交換会

講演後、清川会長への質疑・意見交換会に移った。各質問とそれに対する清川会長の回答は以下の通りであった。

Q:一人で創業され、清川メッキを現在の姿までに成長させている、社員を大きく育てた理念とは何でしょうか?

A:社員をほめることですね。頭をなでたり、肩をたたくなど細かなスキンシップをとることもあります。やはり働きやすい環境を作る

ことは重要です。

Q：大失敗や挫折などもしあったらお聞かせ下さい。

A：40年前にもなるが、福井で国体が開かれた際、携帯用の灰皿にめっきをつける商談があり引き受けました。取引先の発注通り品物を作ったものの、いざ集金というときに取引先に逃げられてしまったことがあります。これは大きな失敗でした。それ以降、手形でなく現金での回収を徹底しています。なお、現在でも取引の9割以上は現金回収です。

Q：地元の小学生などの普段めっきと関わらない一般の人に対して、めっきのおもしろさをどのように伝えているのでしょうか？

A：これは難しい質問ですね。まずは工場を見てもらうことです。場合によっては父兄にも来てもらうことがあります。

用・大人用・専門家用のように別個に用意し使い分けています。来訪者の各目線にあった説明を心がけています。

Q：担当の営業マンがいないということですが？

A：いいか悪いかは分かりませんが、確かに当社には営業部はありません。その代わりに、技術の担当者が直接対応するようにしており、商談・見積りも任せることがあります。また、営業といえばホームページの充実は欠かせないですね。最近では、ホームページの更新をするたびに顧客からの反応が大変多くなっています。

Q：見せる会社とは何でしょうか。環境をどのように改善しましたか？

A：新たに研究開発に取り組むため、新しい人材が必要だったことがきっかけです。



写真 意見交換会の一コマ

自ら現場を体験させることが大事で、当社で開催している「めっき教室」もその一環です。また工場見学では、説明するプレートを子供

人材を確保するために、まずは工場内外をきれいにする必要があると考えたからです。その延長としてISO9000やISO14001の取得に至

りました。究極的にはマスクや手袋や必要としない綺麗な職場を実現したいと思っています。

Q：どのように品質を保証しているのでしょうか？

A：顧客のニーズにできるだけ細かく対応しています。製作にあたって疑問・分からなかったらすぐに顧客に連絡をとるようにしており、逆に問い合わせがあった際は迅速に対応するよう心がけています。また商品や客などのデータベースなどを充実させ、スムーズに情報が引き出せるようなシステムを作っています。

Q：貴社のように、積極的にトライする気持ち「遊び心」を社内に浸透させるにはどのようにしたら良いのでしょうか？

A：マンネリ化を防ぐことが重要です。例えば、ISO 推進担当者を一年交代にしています。特定の人が休んだら業務が回らない、特定の人間に残業が偏っているといった現象が起こらない体制を念頭に置いています。地域交流も活発に取り組んでいます。

Q：この大不況において新卒者の雇用は買い手市場になっています。貴社の採用ペースはどのような状況ですか？

A：毎年約 10 人のペースで、今年は 6 人でした。もちろん正社員です。社風に合うか合わないかを重視して採用しています。新入社員同士でコミュニケーションを多く取らせるため、入社前に父兄も交えて食事会を開催しています。入社後は福井市地元の祭り「よさこい」や忘年会など様々なイベントを新入社員に主体的に行ってもらい、コミュニケーションの醸成の場を多く提供しています。

アンケート調査

○研修会の参加動機について

- ・講師並びテーマに興味があった
- ・知識の習得、現在の仕事に役に立つ 等

○講演会について

・興味深かった点、参考になった点は「ライバルは顧客」であること、遊び心を持って仕事に取り組む等の前向きな姿勢、清川会長の心構え、人柄 等

・心に残ったことは、まずは自己流でやることの大切さ（自己流から一流へ）、思いついたことは実行すること、遊び心を持って仕事に取り組む等の前向きな姿勢 等

○意見交換会について

興味深かった点等は人材集めと育成方法、なんでもやってみること、ISO 担当者の一年毎の交代、現金回収 等

○研修会の参加動機の成果について、多くの方が目的を達成し、「業界の成功者の歴史を知ることができたことに感謝致します」、「とても刺激を受けた」などの感想・意見あり

○今後の希望のテーマは、他の先輩経営者の方のお話も聞いてみたい、先代から引き継ぎ、次代へ継承された方の話も聞いてみたい 等

おわりに

当委員会によるはじめての研修会開催にあたり、講師を引き受けて頂いた清川会長様をはじめ、会場をご提供頂いた清川メッキの皆様方、また、参加募集にご協力頂いた会員組合と執行部の方々には本誌をお借りしてお礼を申し上げます。（了）